

戸塚 文彦 議員

青少年のネット依存症対策を

問 学力低下や健康障害などが懸念される小中学生のネット依存に対する予防教育は。

答 今後、幼小中一貫教育を推進する中で、ネット依存への対応を柱の一つとして、取り組む必要があると考え、幼少期から継続して注意喚起していくことで減らしていきたい。

袋井駅南地区における

治水対策の動きは

問 治水対策の動きがまったく見られないが、小川郵便局北側の遊水池整備についての進捗状況は。

答 本年度は、遊水池の設置範囲について検討を進めている。来年度以降については、用地調査などを順次進めていきたい。



「遊水池公園」予定地

ふくろい茶の振興対策は

問 後継者育成のための使途対象を拡大した市独自の補助制度の創設は。

答 今年度から乗用型機械や製茶機械等、高額な機械の導入に対応した「茶業機械整備事業」を新たに創設し、今年度予算の満額500万円が活用された。

戸塚 哲夫 議員

農業振興の取り組み状況は

問 GAPの認証取得状況、更新手続き費用の助成は。

答 グローバルGAPは、クラウンメロン支所に所属するメロン生産者とクラウンメロン支所が、海外輸出の推進を目的に平成26年10月に認証取得し、現在までに21軒が取得している。JGAPは、6軒の茶生産者が大手の買い手などからの要望に応え、取得している。

認証取得から2年目以降の認証を維持するための、更新手続きにも高額な費用が掛かることは生産者を悩ませている。国、県及び市において、更新費用を補助する制度は現在のところない。今後、生産者や関係団体の意見を聞き、県や関係機関に対し、補助制度の要望をしていくとともに、「6次産業化促進支援事業費補助金」を活用した更新費用を含め、支援方を検討していきたい。

問 水田農業のICT化を今後どう進めるか。

答 水田センサーや自動給水弁、ドローンによる防除などICT化が計られることにより、農作業に費やす労力・時間が軽減し、より多くの水田で効率的に作業することが可能になる。適正な水管理により、節水効果も見込まれる。今後、水管理システム等も導入されていくと思われるので情報収集と研究に努めていきたい。



クラウンメロン